

ゆとみ

議会だより

No.

41

2016年
5月発行



赤・白・ピンクのふわふわ花じゅうたん

目次

- 議員紹介 P2~3
- 定例会の審議内容 P4~5
- 委員会レポート P6~7
- 議案等の賛否状況一覧 P8~9
- 一般質問 P10~20
- おしらせ P21
- 議会人事 P22

市制10周年記念事業
4/16 芝桜まつり(三ツ又池公園)

平成28年3月臨時会・定例会概要

発行●弥富市議会 編集●議会広報編集特別委員会

〒498-8501 愛知県弥富市前ヶ須町南本田335

☎(0567)65-1111 FAX(0567)52-3276

紹介します

2月14日の市議会議員選挙で、現職11人に新人5人を加えた新体制の議員が決まりました。

3月から活動を始めた議員の趣味など、その横顔を紹介します。
※議席番号順。任期：平成28年3月1日～平成32年2月29日

凡例

議席番号 氏名(年齢)
【住所】

- ① 期数(旧町村通算)
- ② 会派
- ③ 趣味
- ④ 好きな言葉



3 かとう かつ ゆき
加藤 克之 (45)
【平島町西新田】

- ① 1期
- ③ スポーツ観戦・子供と遊ぶこと
- ④ 和を以て貴しとなす



2 え さき たか ひろ
江崎 貴大 (26)
【森津十丁目】

- ① 1期
- ② 民進党
- ③ 野球観戦(中日ドラゴンズ)・スキューバダイビング
- ④ 毎日が初演



1 あさ ひ まさ たか
朝日 将貴 (34)
【五明二丁目】

- ① 1期
- ③ 金魚飼育・ドライブ・アウトドアスポーツ
- ④ 温故知新



6 すず き
鈴木 みどり (61)
【又ハー丁目】

- ① 2期
- ③ 旅雑誌を見る・スポーツ
- ④ サプライズ・限定



5 なが い とし あき
永井 利明 (66)
【綱浦町東前新田】

- ① 1期
- ③ 読書・家庭菜園
- ④ 苦労のあとに大きな喜びがやってくる



4 たかはし や え のり
高橋 八重典 (48)
【寛延七丁目】

- ① 1期
- ③ テニス・スキー・ゴルフ
- ④ 一期一会



8 さんのみやとう ごろう
三宮 十五郎 (75)
【綱浦町用水上】

- ① 4(12)期
- ② 日本共産党弥富市議団
- ③ 読書・テニス
- ④ 我不悔(御支援にそえる悔のない人生)



7 な す えい じ
那須 英二 (36)
【五斗山一丁目】

- ① 2期
- ② 日本共産党弥富市議団
- ③ カラオケ
- ④ 僕は僕の歌しか歌えないよ だから僕を磨いていくしかないだろう



～市民の期待に応え、市のために頑張ります～

新体制の議員16人を



11 ^{み うら よし みつ}
三浦義光 (54)
【前ヶ平一丁目】

- ① 2期 ③ 史跡巡り
- ④ 誠心誠意



10 ^{ひら の ひろ ゆき}
平野広行 (65)
【西末広一丁目】

- ① 2期 ③ ゴルフ・神社仏閣巡り
- ④ 以和為貴



9 ^{はや かわ こう じ}
早川公二 (43)
【五斗山三丁目】

- ① 2期 ③ 釣り・ゴルフ
- ④ 真剣味



14 ^{さ とう たか きよ}
佐藤高 清 (66)
【子宝二丁目】

- ① 4(4)期 ③ ゴルフ・詩吟
- ④ 和顔愛語



13 ^{すみ かま ふく よ}
炭竈ふく代 (60)
【鯛浦町上六】

- ① 4(5)期 ② 公明党 ③ 音楽鑑賞・映画鑑賞
- ④ 桜梅桃李



12 ^{ほり おか とし き}
堀岡敏喜 (51)
【鯛浦町東気開】

- ① 3期 ② 公明党 ③ 読書・音楽鑑賞・スポーツ(野球)
- ④ 電光石火



16 ^{おお はら いさお}
大原 功 (73)
【平島町中新田】

- ① 4(9)期 ③ 魚釣り・ゴルフ・旅行
- ④ 行動



15 ^{たけ だ まさ き}
武田正樹 (60)
【森津十一丁目】

- ① 4(4)期 ③ 美術鑑賞・読書
- ④ 雨ニモマケズ 風ニモマケズ...

3月臨時会・定例会

28年2月14日弥富市議会議員一般選挙が行われ、16名による新たな議員でスタートしました。

臨時会を3月2日に開催し、議長はじめ議会選出監査委員・常任委員などを決定しました（構成は最終面をご覧ください）。

新体制による定例会を3月8日から25日までの18日間の会期で開催しました。

市長から初日に、平成28年度一般会計予算など44議案が提案され、所管の委員会に付託、審議し原案通り可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦については、初日に全会一致で推薦に同意しました。

各委員会で付託された審議内容は、委員会レポート（6頁〜7頁）をご覧ください。

一般質問には、11人が登壇し市政全般について質問しました（10頁〜）。

議案第1号
平成28年度弥富市
一般会計予算

質疑

質疑（平野 広行議員）

① 28年度予算編成で一番力点を置いた事業は。

② 本市のまち・ひと・し

ごと創生総合戦略が策定されたが、28年度予算にどの

ように組み込まれているか。

対策の中で災害に強いまちづくりを力を入れた。

答弁（秘書企画課長）

② 基本的に総合計画を踏まえ、まち・ひと・しごと

創生の趣旨に合致する施策・事業を総合戦略に盛り込んでいくことから特化した事業の取り込みはない。

答弁（開発部長）

③ 整備延長約2千40m、整備率は68%である。

残りは960mで、28年度は未整備区間のうち、210mを整備の予定。

今後の見通しは、未整備区間に対する継続的な国の財政支援を受けながら、地元と相談し順次整備を進めていきたい。

④ 鍋田町から国道23号線までの約1.4km区間の整備が進められ、地元と調整を図りながら用地取得を優先的に進め、昨年度より境内地で一部工事を行っている。

今後早期供用が図られるよう整備を進めると聞いている。

① 保育所給食調理業務を委託業務にすることは安心・安全から守れるのが大きな不安がある。

委託業務では、アレルギー対応の遅れ、配膳ミス、プラスチック片の混入があるなど事故が発生している

と聞く。

本市では発生しないとは言えないので現行どおり市が行うべきではないか。

② 病児・病後児保育事業が来年度からスタートするが利用者が負担する単価の決定の経緯は。

① 食の安全は、小学生も幼稚園も保育園も変わるものではなく学校給食の食物アレルギーの対応の手引、給食調理業務の基準がありその基準をクリアした業者に委託する。

を食べられる事業者を選定していく。

答弁（副市長）

① 委託業者にはミスがあり、市が雇用する調理員にはミスがないととれるがそれはおかしい話ではないか。

小・中学校で調理業務をしている委託業者は、プロポータルにより選定した業者であり、問題なく業務を行い、市で雇用する調理員と何ら変わりがないと私は自信を持って言える。

② 病気の子どもの預かる負担を考慮した報酬にしなければ協力会員は集まらないと考え、1時間当たり1千200円とし、この金額は、協力会員に支払う金額である。

利用者の負担を考慮し、上限の3千600円を超えた分については市が協力会員に支払う。

本市の料金より高いところもあれば、安いところもあるが、全てを安いところに合わせるわけにはいかないのも現状である。

子どもたちが安全に給食

子どもたちが安全に給食

子どもたちが安全に給食

討 論

反 対



賛 成

反対討論（三宮議員）

国や地方の最大の問題は賃金の切り下げが行われた結果、高齢者や低所得者の置かれている状況が厳しいことである。

こうした状況の中、固定資産税に対する減免制度や滞納処分の停止制度がなされていないことを実現するなど、弱者に寄り添った施策の実現を求めると反対討論がありました。

賛成討論（平野議員）

子育てに手厚い事業、長年の懸案事項であった、J・R・名鉄弥富駅周辺環境整備に向け自由通路整備事業など、もつと、災害に強いまちづくり・もつと、優しく健やかなまちづくり・もつと、豊かで活力のあるまちづくりの3つの重要な視

点をもつた予算編成であると賛成討論がありました。
※採決は、8・9頁の「議案等の賛否状況一覧」をご覧ください。

議案第3号
平成28年度弥富市国民健康保険特別会計予算

反対討論（三宮議員）

市長は国民健康保険は国策として取り組むべきという趣旨に理解する面もあるが、負担は高め、給付は低めとなっている現状、一番弱い立場の者に対するより一層の配慮を求めると反対討論がありました。

議案第6号
平成28年度弥富市農業集落排水事業特別会計予算
議案第7号
平成28年度弥富市公共下水道事業特別会計予算

反対討論（三宮議員）

事業実施した場合に行政と住民の負担がどのようになるか事業開始当初より明らかにされず、収入の土台となる使用水量も供用開始がされている実際をみると乖離がある。

今後の計画事業推進には可能な限り行政と住民の負担が増加しないような方策、抜本的な問題解決の努力を求めると反対討論がありました。

議案第30号
弥富市道路占用料条例の一部改正について

質 疑

質疑（那須 英二議員）

① 今回の改正により占用料が27年度予算に比べ150万円減収となる要因は。

② 占用者は大手電力会社や、大手電話会社であると思う。そうした体力のある企業であれば、今までどおり納め、市民サービスに還元すべきではないか。

答 弁（開発部長）

① 県が道路法施行令の一部改正（27年度の評価替をもとに算出し、28年4月1日から占用料の額を改定）するため、本市も準じて占用料の額を改定するため。
② 海部地域の中でも見直しが行われている。本市だけが据え置きではなく他の自治体との歩調を

合わせるといった観点からも理解いただきたい。

議案第37号
弥富市環境保全条例の制定について

質 疑

質疑（鈴木 みどり議員）

① 火災の焼け跡（火災ごみ）の処理は該当するのか。

② 不法投棄や雑草が生い茂り困った場合の連絡は区長からか個人からののか。

答 弁（市長）

① 火災で発生した残焼物も、本条例で規定するものに該当する。

答 弁（民生部長）

② 雑草などは、消防法上で毎年指示している。投棄などは区長にお願いできれば一番いいと思うが、個人でも構わない。

答 弁（市長）

不法投棄のごみなどは、シルバー人材センターに全体的予算の範囲内でごみ収集をお願いしている。
まず基本は個人という原則を崩さないでいただきたい。その中でどうしようもないときに行政として知恵

を出し区長や住民のみなさんと協力していくことをあえて申し上げます。

監査委員の選任について

伊藤正信議員の任期満了に伴い、議会選出監査委員に、佐藤高清議員を選任することに同意しました。
【新任】。

人権擁護委員候補者の推薦

伊藤功氏の任期満了に伴い、後任候補者として推薦に同意しました【再任】。

伊藤 功 氏
(68歳・五之三)

水谷正照氏の退任に伴い、後任候補者として推薦に同意しました【再任】。

服部 忠昭 氏
(61歳・平島町)

3月定例会には平成28年度一般会計予算など44議案が提案されました。

各議案に対する採決結果は、8・9頁の「議案等の賛否状況一覧」をご覧ください。

委員会審査報告

今回の改選で定数を16名にしたことにより常任委員会数は3常任委員会から2常任委員会となりました。

3月議会に上程された議案は、各常任委員会に付託し、審査を行いました。その主な審査内容と結果をお知らせします。

総務建設経済委員会

炭竈委員長・早川副委員長・

三宮委員・大原委員・佐藤委員・

平野委員・高橋委員・朝日委員・

(委員外)三浦議員・鈴木議員・

那須議員・永井議員・江崎議員

議案第1号

平成28年度弥富市一般会計予算

問

税収に関し27年度に比べ

28年度予算の伸びがある要

因は。

答

臨海部の固定資産税及び市民税の個人所得の伸びと分析している。

問

税収は当初予算と決算で

は差があるが、28年度予算

の考え方は。

答

精査し予算計上したが、

どは側溝の連続性の観点から施工している箇所もある。

問

狭あい道路事業は時限立法でスタートし、何度か延長され今日に至っている。

本市の特性から必要な事

業と考えるが今後の見通し

と市の方向性は。

答

30年までの時限立法であり、その後の方針は現時点では国から示されていないが、引き続き国に対して要望していきたい。

問

車新田地区の市街化区域

編入への市の取り組みは。

答

まちづくり事業を進めるには、地権者の高い同意率が必要となる。事業への同意を得ながら、具体的に進んでいく中で様々なサポートをしていき、土地区画整理事業を進めていく考えである。

本市のこれまでの他地区

と同じ手法で、地権者に協

力を得ながら取り組んでい

きたい。

討論

他に優れた施策が実施さ

れているとはいうものの、固定資産税に対する減免制度や滞納処分停止制度がないことは、高齢者や低所得者が置かれている状況で憲法や地方自治法、地方税

の見地から問題があると

反対討論がありました。

結果

賛成多数で原案了承。

議案第6号

平成28年度弥富市農業集落

排水事業特別会計予算

議案第7号

平成28年度弥富市公共下水道事業特別会計予算

問

公営企業会計制度の移行

に向け調査費を計上してい

るが、導入の問題点は。

答

下水道整備が完了し使用料収入が平準化するには時間を要するため、公営企業会計に移行し即座に経営が改善され財政状況が好転されるものではなく、当面の間、一般会計の繰り入れは

変わりないと考えている。

討論

事業着手にあたり住民と行政の将来負担を十分な検討がなされず進められたことで大きな矛盾を生んでいくことから抜本的な見直しを求めると反対討論がありました。

結果

賛成多数で原案了承。

議案第39号

平成27年度弥富市一般会計

補正予算(第6号)

問

専門職員の採用を考えて

いきたいとしていたがどの

ようになっているか。

答

28年度採用の内訳は一般職・看護士・保育士・保健師・建築士・土木技師を採用した。

総務建設経済委員会には、他に26の議案が付託されました(議案名は、8〜9頁をご覧ください)が、全会一致で原案了承。

厚生文教委員会

鈴木委員長・三浦副委員長・
武田委員・堀岡委員・那須委員・
永井委員・加藤委員・江崎委員・
(委員外)三宮議員・佐藤議員・
早川議員・高橋議員

議案第1号

平成28年度弥富市一般会計予算

問 新規の廃蛍光灯管等処理委託の事業内容と、ごみ収集運搬等業務委託に含まれる廃蛍光灯管との違いは。

答 新規事業では割れていない廃蛍光灯管を回収し水銀を回収するもので、6月より、月1回の資源ごみ回収時に専用BOXを設ける。

割れたものは水銀がすぐに拡散しているため、不燃ごみとして回収する。

問 児童クラブは、27年度から小学校3年生から6年生に利用者を拡大したが、発達に応じた利用プログラムなのか。

放課後、自宅に保護者がいない家庭の児童を安全に預かる施設と位置付け、勉強を教える場所ではないため、学習プログラムはないが、拡大したことを踏まえ、高学年用プログラムを勉強していきたい。

問 現在、本市では中学生まで医療費無料を実施しているが、国は小学生まで無料にする計画があると聞く。実現すれば財政面で本市は、高校生まで無料化にすることが可能と考える、国に積極的に働きかけては。

答 児童・生徒に対する医療無料化は自治体間競争という側面があると考えている。現在2億円強の予算措置をしている。

小学生まで医療費無料化は国に強く要望していかなければと思っている。

問 配食サービスの対象者、利用伸び率は。

おおむね65歳以上の高齢者のみ世帯、重度障害者のみ世帯、高齢者と重度障害者のみ世帯を対象とし、伸び率では、今年度の見込数値だが利用者は42名増え317名、配食数は約1万食増の4万6千6百食を見込み、委託料を380万円程度増。

問 10月以降配食サービスの自己負担額が40円となり負担増になる高齢者が多くなる点をどう考えているか。

答 利用率の伸びが大きく、この制度自体を維持する必要があると感じている。

収入に応じた負担にすることも含め検討していく時期と考えている。

討論 保育所の給食調理業務委託は指揮命令系統が変わることや請負委託業者は短時間の非正規労働者になること。給食サービス事業では10月より利用者の負担が100円増になることは賛同できないと反対討論がありました。

結果 賛成多数で原案了承。

議案第8号 海部南部広域事務組合規約の変更について

問 変更による本市の影響は。

答 実情にあった算定方法に変更するもので、本市の負担は増える。

結果 全会一致で原案了承。

議案第33号

弥富市児・病後児保護条例の制定について

問 病児・病後児施設の利用金額の時間当たりの単価を見直すことはできないか。

答 就労者が利用すると考えており長時間になると想定しているので単価を見直すことは考えていない。

結果 全会一致で原案了承。

討論

子育てするなら弥富の言葉通りこの地域の先陣を切り実施していくことだろう

と思うし、本当に今大変な人たちが、保護者の方から要望があつて、こうした制度改善としては本当に素晴らしいものだと思つて賛成討論がありました。

結果 全会一致で原案了承。

議案第37号

弥富市環境保全条例の制定について

問 本条例では行政代執行などもあることから制定にあたり市民への周知方法は検討しているか。

答 特別には考えていない。

問 他市で問題となっているごみ屋敷や鳩のえさやりなどもこの条例で対応可能になるのか。

答 考えていない。

厚生文教委員会には、他に12の議案が付託されました(議案名は、8〜9頁をご覧ください)が、全会一致で原案了承。

3月臨時会及び定例会 議案等の賛否状況一覧

会 派 名		公明党	日本共産党	民進党	無会派														
議案番号	件 名	議決結果	炭竈く代	堀岡敏喜	三宮十五郎	那須英二	江崎貴大	大原 功	武田正樹	佐藤高 清	三浦義 光	平野広 行	早川公 二	鈴木みどり	永井利 明	高橋八重典	加藤克之	朝日将貴	
第1回臨時会 議案等審議結果																			
市長提出議案																			
同意第1号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第1回定例会 議案等審議結果																			
市長提出議案																			
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	平成28年度弥富市一般会計予算	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	平成28年度弥富市土地取得特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	平成28年度弥富市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	平成28年度弥富市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	平成28年度弥富市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成28年度弥富市農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成28年度弥富市公共下水道事業特別会計予算	可決	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	海部南部広域事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	弥富市行政不服審査会条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	弥富市行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	弥富市手数料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	弥富市情報公開条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	弥富市個人情報保護条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	弥富市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	弥富市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	弥富市出頭人等の実費弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	弥富市行政手続条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	弥富市職員の退職管理に関する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	弥富市災害派遣手当等の支給に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	弥富市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	弥富市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

会 派 名		公明党	日本 共産党	民 進 党	無会派													
議案番号	件 名	議決 結果	炭 竈 ふく 代	堀 岡 敏 喜	三 宮 十 五 郎	那 須 英 二	江 崎 貴 大	大 原 功	武 田 正 樹	佐 藤 高 清	三 浦 義 光	平 野 広 行	早 川 公 二	鈴 木 み ど り	永 井 利 明	高 橋 八 重 典	加 藤 克 之	朝 日 将 貴

第1回定例会 議案等審議結果（つづき）

市長提出議案

議案第22号	弥富市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	弥富市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例による改正前の弥富市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	弥富市職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	弥富市職員定数条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	弥富市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	弥富市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	弥富市税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	弥富市営住宅管理条例等の廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	弥富市道路占用料条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	弥富市国民健康保険税条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	弥富市母子・父子家庭医療費支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	弥富市病児・病後児保育施設条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	弥富市児童クラブ施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	弥富市遺児手当支給条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	弥富市介護保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	弥富市環境保全条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	市道の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	平成27年度弥富市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	平成27年度弥富市土地取得特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	平成27年度弥富市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	平成27年度弥富市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	平成27年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	平成27年度弥富市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議員提出議案

発議第1号	議会広報編集特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	庁舎改築等特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否状況 ○：賛成 ×：反対 -：議長は採決に加わらない。臨時議会の監査委員の選任について、佐藤高清議員は採決時退席。

炭竈 ふく代 議員 公明党

我がまちの子どもを虐待から守る対策を

問

新しい年になり耳をふさ

ぎたくなる悲惨な幼児虐待事件が続く中、尋ねる。

(1) 急増する虐待相談、その受け皿である児童相談所の体制、特に児童福祉士の不足が指摘されているが、本市の現状と認識及びその対応は。

(2) 政府もネウボラに注目している。一昨年末にまとめた人口減対策や地方創生の総合戦略は、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援が必要。たとして、ネウボラを参考にした包括的な支援センターの設置を提言し、ワンストップの相談窓口を整備することを明記している。2015年度までに150箇所、それからおおむね5年後までに全国展開を目指すとしている。子育て世代包括支援センターをぜひと

も設置すべきと考えるが、市の見解は。

(3) きめ細やかなサポートをする上で、保健師ら専門職のネウボラおばさんの育成も重要課題であると考えますが、市の考えは。

(4) 既存のネットワークや町内会を活用して、妊娠から子育てまで地域全体で支援をする仕組みである「チーム地域」を本市もつくるべきと考えるが、この取り組みに対する市の考えは。

(5) 妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない相談支援体制の確立について市長の見解は。

地域からの早期発見 対応につなげる

答 民生部長

(1) 市の相談件数は、24年度が18件、25年度が27件、26年度が41件、27年2月末

までで28件である。

全国的な数字を見ても、児童相談所の児童虐待対応件数は増加傾向にある。本市では、家庭相談員を1名増員し2名体制で面接を行っているほか、保育所や学校、病院など関係機関へ訪問調査を実施している。

(2) 子育て世代包括支援センターは、妊娠期、出産直後、子育て期と地域の関係機関が連携し、切れ目のない支援を実施できるように必要な情報を共有し、みずから支援を行い、または関係機関のコーディネートをを行うものである。

保健センターは、母子保健に関する相談機能を有する施設であり、母子保健を中心とするネットワーク、医療機関、療育機関などにつなげていきたい。

保健センターに妊娠届を提出の際、保健師などが直接、母子手帳を交付するとともに、妊娠・出産に関するアンケートを実施し、その結果で、若年者やうつ病

など心に病のある妊婦などハイリスクの方には、継続的に妊娠中から担当保健師が関わる。

出産後の赤ちゃん訪問事業では、全ての出生児に保健師などが訪問をする。

本年4月からは、養育支援訪問事業として、赤ちゃん訪問の結果で、育児ストレス、産後うつ、育児ノイローゼなどにより子育てに對して不安や孤立感を抱える家庭に訪問し、養育上の諸問題の解決、軽減を図る。

産前・産後サポート、産後ケアの取り組みは、今年1年、赤ちゃん訪問時に、産前・産後を通じてどのような支援が必要かアンケートを実施し、今後の母子支援事業に生かしていく。

(3) 専門知識を備えた人材、専門職員をそろえることに限りがあるが、育児相談、栄養相談、子育て相談、歯科相談、発達・発育・病氣などの診察、相談につなげていく。

現在の段階では保健師などに専門知識取得の各種研修への積極的な参加、多様化する相談、支援の内容に對応するための人的整備として、保健師、臨床心理士、看護師、ソーシャルワーカーなどの増員も必要と考える。

(4) 28年4月から、ファミリー・サポート・センター事業を市の直営事業とし、病児・病後児保育事業を始める。

民生・児童委員からは、児童虐待、要保護児童について地域からの早期発見・対応につなげる。

答 市長

(5) 市制10周年記念事業で、子育て支援として、児童虐待を扱うミュージカルを行う予定である。

切れ目のない支援の継続、組織対応を考え直す必要から、庁舎の建設時には、総合的な子育て支援の窓口を設置し、保護者への一層の支援につなげたい。

那須 英二 議員 **日本共産党 弥富市議団**

子どもの遊び場、公園のない地域に設置を

問

(1) 前ヶ須地区は、子どもが多い地域にもかかわらず、近くに公園や子どもの遊び場がなく、道路で遊ばざるを得ない状況が目につく。

地域に早く公園をという要望があるが市の考えは。

(2) 現存の公園や子どもの遊び場の中には、遊具が古くなり危険な状態のものがあるが遊具の管理はどのようになっているのか。

(3) 老朽化で多額な費用を要する具体的なものは。

緑の基本計画の中で適正配置を計画していきたい

答 開発部長

(1) 前ヶ須周辺地区には、子どもの遊び場、公園が設置されていない。

現状の公園などの配置を踏まえ、今後策定予定の緑

の基本計画で適正配置を計画していきたい。

答 民生部長

(2) 定期的に点検し安全性を確認している。

緊急を要するものから修繕を行い、けがや危険性のある場合は、使用禁止などの措置も行う。

老朽化で多額の修理費を要する遊具や使用に耐えなさと判断したものは、撤去も含め検討していく。

答 市長

(3) 公園には、普遍的なものはならない遊具がある。過去から設置のもので利用率が良くないものは、老朽化の際に撤去し、新しい遊具を設置すべきという考え方と理解願いたい。

用水路の悪臭対策に浄化剤を

問

(1) 用水路にドラム缶や車椅子が落ちているところがあるが、用水路の管理はどのようにしているのか。

(2) 冬場でもおいが気になるところがあるが対策は。

(3) 以前、三宮議員の質問で、鯛浦の自治会連合会で、バクテリアの粉を各家庭に配布し、年に1回流しなどから流すだけで、水が浄化された、悪臭がなくなったという発言があった。

全市的に、特に悪臭が出る地域は必ず行っていたきたい。

合併浄化槽や単独浄化槽など、まだ下水に接続をしていない家庭や地域に配り悪臭対策をしてはどうか。

もう少し検証に時間をかけたい

答 開発部長

(1) 市街地の用水路、排水路の管理は地元区長からの要望、市民からの通報などの情報により、ヘドロのしゅんせつや排水路の修繕な

どを行っている。

(2) 市全域が低地で自然排水ができないため、流れの悪い箇所や悪臭発生場所など全て把握できない状況で、市民からの通報により悪臭箇所を把握している。

悪臭対策は、流れが悪い箇所の水路底の修繕やヘドロの堆積が多い箇所はしゅんせつで対応している。

答 開発部長

(3) 浄化材の活動は、27年度、鯛浦の7地区で環境浄化材を散布しているので、もう少し検証していきたい。

答 市長

(3) ヘドロは水路に水がないのが要因であり木曾川下流の水資源公園に一定期間、水路に水を入れ排水を願ひし水の動きを水路の中につくらないとヘドロが解消できないと考える。

悪臭は生活の中での弊害であり応急的な処置はすぐに実施していく。

本市の空き家対策はどうしていくのか

問

(1) 倒壊したままの空き家などが目につくが、状況や建物の存在、また場所などを把握しているか。

(2) そうした建物はどういう処理をされてきたか。

専門家を含めて空き家対策協議会を発足していきたい

答 開発部長

(1) 24年度、区長・区長補助員の協力のもと、空き家の実態調査を実施した。

28年度に再度調査し、データ作成を行う予定である。

(2) 特に危険なものは、所有者に連絡しているが所有者が不明の場合、なかなか空き家対策が進まない状況が今でも続いている。

答 市長

(2) 昨年5月特別措置法が制定され空き家に対し指導、勧告、命令、代執行が市町村単位で実施可能となった。本市も、専門家を含めた空き家対策の協議会を発足していきたい。

三宮 十五郎 議員
日本共産党
弥富市議団

新しい介護総合事業でも必要な人が必要な支援を受けられる仕組みを

問

(1) 市長は、新しい介護保険総合事業でも介護・福祉は後退させないと発言があったが具体的な取り組みは、
(2) 現在、要支援認定を受けている人は、状態が変わらなければ認定を受けた人たちは現行相当のサービスが受けられると理解しているか。

基本的には同じものを提供できると考えている

答 民生部長

(1) 総合事業は、これまでの要支援1・2の方が利用していた訪問介護、通所介護が保険給付から市町村事業として介護予防・日常生活支援総合事業に4月から移行するもので、対象は要支援の方及び基本チェック

リストにより事業対象基準に該当した方である。

訪問型サービスは、現行相当の訪問介護、また緩和した基準による訪問介護型サービスA、訪問型サービスBとし、通所サービスは、現行相当の通所介護、緩和基準による通所型サービスA及び通所型サービスBを設定している。

また、緩和した基準による訪問型サービスA及び通所型サービスAのサービス単価は、現行の介護給付基準の8割と設定している。

また、訪問型サービスBは日常生活支援をコーディネートするささえあいセンターを、通所型サービスBは28年度から取り組んでいるふれあいサロンを位置づけたい。



▲総合事業の利用の手引き

国民が負担できる介護や医療制度へ国に強く働きかけを

問

(2) 介護高齢課長
そのとおりである。

最近の病院施設・事情で、本市の地域包括支援センター資料によると1カ月70歳以上の人が入院した場合、急性期病床の費用と回復期リハビリテーション病床の費用が公的な病院の医療費と食費代を合わせると7万円程度の費用負担となる。健康保険の医療無料者は、この医療費はなくなる。医療療養病床の費用は、

13万から15万、介護保険分として3万円の負担と食事代があり、その他の費用が6万円。

その他費用の中には、病院の都合でクリーニングは全て指定、おむつなども全て指定店で購入が義務づけられ、国は負担しない分を事実上自己負担にすること。この負担を減らしている。このような状態のため負担ができない人たちが相当ある。

また、財務省案の『今後「社会保障改革」の工程』によると、財務省は医療や介護の負担引き上げの検討を求め、28年度までに結論

を出し速やかに実施、検討の上、29年に法案提出がめじろ押しである。

負担ができない人たちが相当ある状況を見ると、このようなことをされて大丈夫だという市町村は日本中にないので、今、市長や議長会や地方議会を挙げ、国民が負担できないような仕組みを直していく、こういうことを抜きにして、国が決めたことだから仕方がないという対応では取り返しのつかないことになる。考えるが、市長の考えは。

それぞれの機関を通じ強く抗議していく

答 市長

保険給付の対象から介護1・2の認定の方を外していくというのはとんでもないことである。

私たちはそれぞれの機関を通じて、そのようなことを国がさせるといっているのであるなら強く抗議をしていくし、あってはならないと思っている。

三浦 義光 議員 無会派

28年度の農業施策に対する市の考え方を尋ねる

問

- (1) 中間管理事業の中でも地域集積協力金、経営転換協力金、耕作者集積協力金、それぞれの支援の具体的な割合は。
- (2) 機構の事業により権利設定を行う場合、出し手の申し出から受け手の正式決定までに時間がかかりタイムラグがあること、事務量が多いためか事業を活用しにくいという声があるが、地域集積協力金は前年よりも減額、円滑化事業からの横滑りは認められなくなり27年度のような集積が進むのか。果たしてそこまで伸びるのかその見通しは。
- (3) 農業の企業参入、農業生産法人化、それに伴う6次産業化に対する考えは。
- (4) 農林水産省はPPP対

策の目玉として、全ての農産物を対象にした産地パワ

ーアップ事業を創設した。

事業展開には、説明会の開催、再生協議会の立ち上げが不可欠であるが本市の状況は。

**農業振興地域として
も守らなければなら
ない**

答 開発部長

(1) 地域集積協力金は23地区申請で合計3千855万7千200円である。

経営転換協力金は、136件申請で合計5千320万円である。

耕作者集積協力金は、260筆申請で合計701万2千円、総額9千876万9千200円である。

(2) 制度内容がわかりづらいという難点、また手続き

事務量が多く、貸し手と担い手との利用権設定までに時間がかかるなどのデメリットがある。

しかし、農家の高齢化や後継者不在を理由に、今後利用集積円滑化事業は増加すると思われる。

答 市長

(2) J Aや東海農政局、本市農政課も含め中間管理機構に対し説明していかねばならないと思っている。例えば、農業振興地域としても守らなければならぬという一面などがある。

(3) さまざまな企業に対し本市の農地を使用する農業生産の説明をすることは、なかなか厳しい状況である。

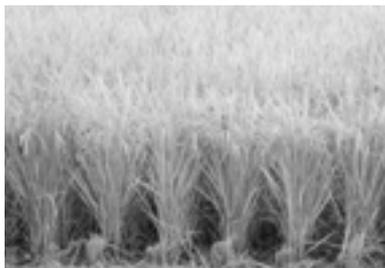
農業法人化を進めることが、安定した商品の供給と雇用につながっていくだろうと思っている。

ホームページなどを活用し本市の農業製品の特色をPRし、企業に対し商品を使っていただく産業化を進めていく。

答 開発部長

(4) 2月8日、県より地域の再生協議会担当者に対し説明会が開催された。

この地域は本市、蟹江町、飛鳥村を区域とする海部南部地域農業再生協議会が24年2月より設立されている。



▲市内において収穫間近の稲

ふれあいサロンの今後の事業展開は

問

(1) ふれあいサロンは27年度から運営事業委託料を計上し、介護サービス事業所や福寿会などで開始しているが活動内容と実績は。

(2) ふれあいサロンは、喫茶店に行くような感覚で気軽にかけることができ、楽しみながら新たな人間関

係を構築することができると28年度の委託内容に変更はあるか。

自治会など地域の取り組みに変化はあるか。

**多くの方の通いの場
を提供していきたい**

答 民生部長

(1) 介護サービス事業所、J A、福寿会など8団体10カ所で活動し、1年間順調に運営していただいている。

(2) 28年度から総合事業に位置づけし多くの方に通いの場をより多く提供できるように取り組んでいきたい。

答 市長

(2) 本市の高齢者対策の一つの方向性としても非常に大事なことだと思っているので、それぞれの会場に足を運んでいただきたい。

▲認知症サポーターの証「オレンジリング」

永井 利明 議員 無会派

本市の小中学校の教育環境整備の誇れる点は

問

- (1) 教育環境整備で他市町村と比べ誇れる点、遅れをとっている点は。
- (2) 洋式トイレの整備は。
- (3) 学校備品の購入計画は。
- (4) 小・中学校のエアコンの導入の計画は。

ICT(情報通信技術)の整備やICTを活用した教育の充実

答 教育部長

- (1) ICT(情報通信技術)の整備やICTを活用した教育の充実である。
- (2) 27年度は、「防災教育」を中心とした実践的安全教育総合支援事業として文部科学省より委託を受け、十四山地区の児童・生徒に防災教育を地域住民を巻き込んで行うことができた。
- (3) 遅れをとっている点は特にないと思っっている。

問

- (2) 学校間で格差が生じないように各校平均して改修していく方針で、総合計画に従い30年度までに50%を目標に洋式化を進めている。
- (3) 毎年、各校からの要望により、各教材、部活動で使用する楽器などを購入している。

今後文部科学省資料「教材整備指針」を参考に整備していく。

- (4) 近隣市町村では、1町が順次設置をしていくと聞いている。
- (5) 本市では、暑さ対策として全小中学校の普通教室に扇風機設置が完了している。
- (6) エアコンの設置は、校舎の長寿命化対策工事計画にあわせ、国の補助金の採択状況を見ながら計画的に進めていきたい。

小中学校のいじめの状況とその対策は

問

- (1) いじめ対策として本市でもアンケートを実施しているがその内容と結果は。
- (2) 重大ないじめ対策は。

本市のいじめ防止対策基本方針に従い対応していく

答 教育部長

- (1) 学校生活意欲度や学級満足度を客観的に分析できる心理テストと本市の独自アンケートを実施している。
- (2) その結果は「いじめられたことがある」と答えた児童・生徒の割合が、市全体で13%から14%に微増し、「いじめがあると思いますか」の問いに「あると思う」と答えた児童・生徒が、市全体で8%から11.2%に増加をしている。
- (3) 特に小学校では、10%から13.2%に増加しているので注視していく。
- (4) アンケートを分析し調査結果を各小・中学校にフ

ードバックし、その後の指導に役立てている。

「弥富市いじめ防止基本方針」に基づき各校「いじめ・不登校防止対策委員会」を組織し、いじめ防止に向け関係機関との連携の強化を図り、適切な対応を心掛けていく。

不登校児童生徒の対応はどうしているのか

問

- (1) 小・中学生の不登校の状況は。
- (2) 原因別に調査し個別に対策を講じているか。
- (3) スクールカウンセラーの配置と活動状況は。
- (4) 本市の不登校児童・生徒支援施設「アクティブ」に臨床心理士は配置しているか。
- (5) 「アクティブ」の活動状況は。
- (6) 不登校児童生徒への登校刺激の考えは。

答 教育部長

- (1) 2月末で小学生11人中学生35人合計46人。
- (2) 心理的、情緒的、身体的、家庭環境などがあり、家庭訪問や関係機関とも連携し組織的に対応している。
- (3) 各校1名配置し、活動は、児童・生徒、保護者、教員からの相談、広報活動などを行っている。
- (4) 臨床心理カウンセラーを配置している。
- (5) 2月現在、小学生3人、中学生4人、計7人が通室している。
- (6) 学校復帰をした児童・生徒は、26年度、小学5年生の1人、27年度、小学4年生の1人が学校復帰し、4年生1人と6年生1人が、毎日、アクティブに通室している。

「登校刺激を与えなければいけない時期もある」

「登校刺激を与える」という手法を時期により実施している。基本的に学校はつかず離れずの立ち位置であることが望ましいと思っっている。

大原 功 議員 無会派

国保税算定の資産税割を見直す考えはあるか

問

- (1) 本市の国民健康保険の加入者は。
 (2) 本市の国民健康保険税の滞納者は。
 (3) 本市の国民健康保険税の滞納額が2億6千万円と聞かす間違いないか。
 (4) 滞納することで診察はどのようになるのか。
 (5) 国民健康保険事業は一般会計からの繰入金も含め運営している。
 社会保険を納める者は、一般会計から国保に繰り入れられると、保険の二重払いをしているような気がする。
 滞納があっても受診できる点をどのように考えているか。
 (6) 国民健康保険税を課税するに均等割・所得割・資

産割で決定されるが、所得割は8.1%、資産割は23%と資産割が高過ぎると考える。固定資産税を減額する考えはあるか。

現段階では現状のままでいきたい

答 民生部長

- (1) 28年1月末時点で、世帯数が5千991世帯、被保険者数が1万767名である。
 (2) 26年度以前の対象にした人数、過年度分は872世帯である。
 (3) 過年度分の総額で2億6千万円である。
 答 保険年金課長
 (4) 6カ月間を区切りとして短期給付保険証を発行している。
 次の証の切り替え時に納税相談なども含め随時して

いる。

答 市長

- (5) 国保運営は、一般会計から28年度当初予算でも1億2千万円を繰り入れ、市民の健康に対し取り組みなければならぬ事情はあるものの、税の公平性の観点から等しく納めていただきたい。
 滞納に対し愛知県西尾張地方税滞納整理機構を通じて納税していただく努力をしている。

一方で、滞納せざるを得ない事情に対し、意見などを聞き、納税を継続していくことをお願いしている。

- (6) それぞれの要因に基づいたベースをつくり国保税をお願している。
 今のところ保険料は、現状のまましていきたい。

保育所、小・中学校に導入する救命胴衣の配備の市長の考えは

問

本市の地理的条件を考えると救命胴衣が必要であると考え。

ようになる。

また、南部地区や十四山地区に大企業も進出し固定資産税の税収が伸びること、国保税の資産割を減額することも可能と考える。

本市の道路には、両側にのり面があり柵板の設置や擁壁を施工することで道路拡幅が可能となり緊急車両も通行可能と考えるが、のり面を活用した拡幅の考えはあるか。

28年度佐古木地区をはじめ5地区の整備を計画している

答 市長

基幹道路、都市計画道路も含め、道路はまちづくりの生命線とされている。現在のり面としている箇所も幅員を活用して歩道なども含めた安全対策を講じていかなければならないと考える。

答 市長

28年度は佐古木地区をはじめ楽平、鯛浦、操出、稲狐の5地区を順次整備を行う計画である。

予算もあり苦慮するが子どもたちの安全を考えていきたい

答 市長

市内保育所、小学校に順次導入する計画を進めているが、導入してメリットのあふることが大事だと思う。28年度導入予定のない日の出小学校区と桜小学校区には、一級河川の本川川があるが、市長の考えは。

道路のり面を活用した道路整備をする考えは

問

道路整備をすることで本市に住む1万2千人近くの高齢者に何かあったとき緊急車両が1秒でも早く行け

朝日 将貴 議員 無会派

弥富創生事業は未来への責任感を持ち取り組め

問

今、中部エリアは、2027年リニア開通までにとだけ観光に力を入れるかで、その後の未来が大きく分かれる分岐点であるという認識を持つことが重要であると考える中、以下の事を尋ねる。

- (1) 人口減少社会に対応する危機感を持ったまちづくりへの意識向上が必要ではないか。
(2) 市の北部発展にこれから必要なことは観光である。質の高い観光資源を地場産業と結びつけ産業化し、内外にアピールをして、日本全国、さらに世界中の人々が本市を訪れてくれるように取り組む必要がある。
また、地方創生のメニューにのっとりて予算を確保

できるように、国に強く要望し続けながら、長期に本市が発展し得る計画をつくる必要がある。
本市の地場産業といえば、もちろん金魚。金魚の水族館、題して「金魚アクアリウム」(爆買いできるショッピングセンターや、外国人にも人気な飲食店街を併設)のような観光施設を、駅からも近く、弥富インターからもアクセスしやすいエリアの土地を有効活用し、観光施設を早期につくるべきだと考えるがどうか。

- (3) 市の南部地域を住みよい環境にするために必要なことは、一番に鉄道を通すこと(具体的には、あおなみ線延線)。飛島村、木曾岬町と名古屋港隣接自治体が一体となり、強く要望し

続けるべきだと考える。

二次的にはきんちゃんバスの有効活用が求められる。

南部から弥富駅、海南病院に至る間の全てのバス停を通過する急行バスを整備し直線的、かつ朝夕の時間帯の増便をすべきである。朝、忙しい子育て世代への環境整備の観点からも必要であると考えがどうか。

質の高い安定した行政サービスの提供を行っていく

答 市長

- (1) 少子・高齢化は本市も既に始まっている。
都市基盤整備(公共下水道事業、道路など)事業もまだまだ多く、国・県からの交付金を頂き施工しているかなければならない。

財政の健全化を図り、まちづくりをやっていく。
(2) 北部地域は、新たな市街化区域を定めていこうと、国道一号線の車新田地区を新たな市街化地域へと動き始めていく。これを進めて

観光資源としての金魚は大変重要な位置づけとされているが、弥富の金魚だけで観光になるかという点、これは大変厳しい。

答 総務部長

- (3) 人口減少の進展などの需要量を考慮すると、臨海部への更なるあおなみ線延長は、現状では厳しい。
きんちゃんバスの利用は、市民生活の交通手段の確保、公共交通空白地域の解消などのため、より利便性の高いバス運行を実施していか

なければならぬ。
したがって、運行業務費が増額とならない範囲内で、28年度南部ルート、東部ルート

の路線で幹線的・直線的な運行のモデルケースを策定し、弥富市地域公共交通活性化協議会に提案する。

庁舎分散を機にマイナンバーカードの普及促進に努めては

問

仮庁舎への分散移転により、市民サービスの煩雑化が予想される。

煩雑化の緩和にマイナンバーカードを利用してはどうかと考える。

コンビニで住民票などを取得できるよう、本市も取り組む絶好の機会である。結果としてゴールデンウィークに間に合わないとしても、しばらくの間は、市民に迷惑をかけるので、早期に取り組むべきだと考えるが市の見解は。

近隣市町村の動向も見ながら検討する

答 民生部長

本市では土・日、祝日の図書館開館日の午前9時から午後5時までの間、住民票、印鑑証明の発行を行っている。

費用対効果などを考慮すると、現段階でコンビニ交付は考えていない。

今後の導入は、近隣市町村の動向も見ながら検討する。

鈴木みどり 議員

無会派

高齢化が進む中、側溝清掃に 対する本市の考えは

問

毎年、年末になると、区長を通して市への要望（土木申請）をしている。

要望を何度出しても、優先順位があり、施工されず不信感を持つ住民がいる中、尋ねる。

- (1) 区長申請の有効期限は、
- (2) 年度ごとの申請件数は、
- (3) 申請に対する施工実績は、どの程度達成されているか。
- (4) 高齢化が進む中、側溝掃除に対する市の考えは。

地元の現状を報告していただき申請にっ
なげていきたい

答 開発部長

- (1) 有効期限は、申請年度から3年間である。
- (2) 側溝工事の申請件数は、

26年度は26地区で45件、27年度は25地区で39件、28年度12地区で14件である。

側溝申請の延長は、おおむね2千m前後である。

- (3) 申請に対する施工実績は、側溝工事で26年度約39%、27年度約49%、側溝しゅんせつは26年度約7%、27年度約13%、カーブミラー設置は26・27年度とも約60%、カラー舗装は26年度100%、27年度は路肩のカラー舗装が約75%、交差点のカラー舗装が約46%である。
 - (4) 地域活動の協力で行われている地区もある。
- しかし高齢者にとって、側溝清掃は危険である。
- 側溝のふたをコンクリート製から鉄の編み目製（グレーチング）に換えるなど、

幹線道路や、泥の堆積程度により地元でできない箇所を優先的に対応していきたい。

答 市長

側溝管理を今一度見直していきたい。

区長を通じ、地元の側溝の現状を報告していただくことを要望し、申請に繋がっていくよう進めていきたい。

防災教育の教材として、「いえまですごろく」の活用を

問

- (1) 防災学習に必要なキーワードを含み、その後の防災教育へ発展性のある教材「いえまですごろく」。

愛知県支部でも貸し出しているが、十四山東部小、西部小で利用されたと聞く。評判、感想を聞いたうえで、購入を考えてはどうか。

- (2) 文部科学省の委託事業として、十四山地区で地域ぐるみの防災訓練が実施されたと聞くが、その内容と参加者は。
- (3) この訓練を他の学校に

活かしていきたいと聞くがどのように進んでいるか。

積極的に学校へ紹介し防災教育につなげたい

答 教育部長

- (1) 家の外で1人被災した際に、安全に家までたどり着くまでに起こり得る予期せぬ事態や知っておくべき知識を学ぶことができるゲームであり、取り組みやすい教材である。

他の学校へ紹介し、購入は学校の意見も聞きながら判断していく。

- (2) 事業の中心的なもの、災害ボランティアの疑似体験として避難行動訓練（避難所体験）を実施した。参加者は、児童・生徒、警察、消防、災害ボランティア、女性の会、区長会、地域住民、保育所園児。
- (3) 今後、事業成果や防災アドバイザリーからの指導・助言を他地区に伝え、各校の防災計画・防災マニュアルの見直しを含め、防災知識、防災意識を高めていきたい。



▲楽しみながら防災知識を学べる

「いえまですごろく」

堀岡 敏喜 議員 公明党

自殺対策は生きることへの
包括的支援が必要では

問 3月は自殺対策強化月間である。
27年の全国の自殺者数は2万4千25名、依然高い水準で、特に若年層の死因のトップが自殺は、先進国の中でも突出している。

答 学校、家庭、地域社会一体で取り組まなければならない

そのような中、自殺を未然に防ぐための計画策定を地方自治体に義務づける自殺対策基本法改正案が成立の見通しである。

答 民生部長
(1) 自殺の原因は複雑多岐にわたる。そのサインにいち早く気付くため、教職員、市職員の研修を行っている。また、市民へは、ゲートキーパー養成講座の開催、昨年3月から導入した市ホームページ掲載の簡易ストレスチェック「こころの体温計」、役所窓口でのリーフレットを配置し、周知啓発を行っている。

対策を生きたことへの包括的支援として、今後の市の取り組みについて伺う。
(1) 本市の取り組み状況は。
(2) 広島県安芸郡府中町で、男子生徒が、誤った記録に基づいた進路指導が原因で自殺した事件を受けて、市内学校の指導体制はどのようになっているのか。

答 教育部長
(2) 本市では校務支援システムを使用し、データ管理を行い、校長を中心に学校全体で取り組み、絶対にミスのないよう確認体制をとっている。
過去の問題行動を当該児

童・生徒のレッテルにしてはいけない。指導の成果が顕著で生活が改善されているのであれば、それ以後の教育活動全般にわたり当該児童・生徒に不利益な状況が発生しないよう、教育的配慮が大切である。

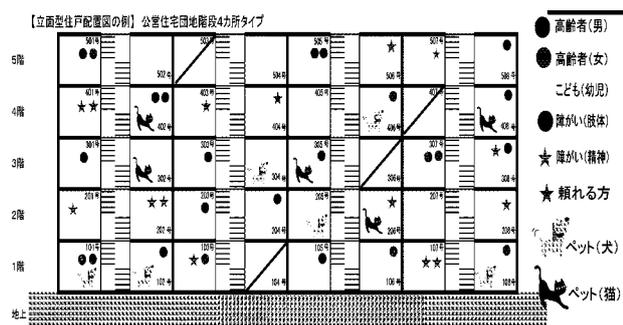
地域防災の活性化に
ソフト面の公助として
いかに関わるのか

問 プライベートが重視をされ、人間関係の希薄化が進む現代社会にあつて、事前防災を軸に展開をしていく地域防災計画の推進は、子どもから大人まで共通して取り組むことができる、また共有をしていかなければならない課題である。

ハード面の防災インフラの充実を図る傍らで、要配慮者への対策や混乱を招かないための避難所への避難配分、DIGやLODE【】といった災害シミュレーションの活用など、具体的な地域防災計画を進めていくため、ソフト面での

公助としていかに関わっていくのか。

「子ども、高齢者、障がい者、みんなで避難」の英単語の頭文字をとって名付けられた。地域に住む「人」に焦点を当てたDIG（災害図上シミュレーション）の福祉バージョン。



地域の実情の把握
課題の共有が重要

答 市長
各地での災害や過去の経験を教訓とし、風化させることなく、現実の生活の中にも生かしていくことが大事である。

市の取り組みは、国、県とも連携し防災インフラの充実を図っていく。
また、1秒でも早く1mでも高い所へ避難ができるよう、民間の協力も得ながら、公共施設の屋上などを整備し、一時避難場所の増設に力を注いでいく。
想定される南海トラフ巨大地震に対し、避難シミュレーションに基づき、津波避難計画を今年度中に策定する。

答 危機管理課長
事前防災が大事である。いま一度、防災・減災の基本である自助・共助・公助という役割を確認し、災害被害者ゼロを目指していく。

誰がどの要援護者を助けるのか。日常からの支援体制づくりや対応計画を検討する必要がある。

江崎 貴大 議員 民進党

選挙権年齢引き下げで本市の有権者数の変化は

問 (1) 今年の夏の参議院選挙から選挙権年齢が20歳以上から18歳以上へと引き下げられた。本市の有権者数はどのように変化し、どのくらいの割合を占めるか。

答 18・19歳合わせ913名増加で割合は2・55%である

総務部長

(2) 今回、選挙権年齢が18歳以上と引き下げられたことで、高等学校など教育機関とは、今現在どのような提携を進めているか。

(3) 投票率を上げるため、今後投票所の配置をどのように考えているか。

(4) 期日前投票所の設置はどのように考えているか。

(5) 選挙当日、既存の投票所以外に駅や商業施設などで共通投票所を自治体の判断で設置できるようにする動きがあるが、本市はどのような考えがあるか。

今後とも学校と連携し、選挙出前トークを行っていただきたい。

(3) 鎌島投票所と稲吉投票所を統合し、大藤投票所(大藤保育所)とする。

今後は、しばらくの間、現状維持の考えである。

(4) 期日前投票所は、今ままでおり1箇所、仮移転後の場所は、総合社会教育センターを中心に検討をしている。

(5) 今後の動向に注視をしていきたい。

本市の受動喫煙防止に対する取り組みは

健康増進法により受動喫煙の防止がうたわれているが、市内の学校及び公共施設での対応はどのようになっているのか。

答 本市の学校は建物も含めて敷地内全面禁煙である。

公共施設 屋内は全面禁煙、屋外(出入口)は今後検討

答 市民部長 市役所は、市民の出入りが想定される部分は屋内全面禁煙とし、屋内分煙措置として、喫煙コーナーを1箇所設置している。

他の公共施設は屋内全面禁煙としている。

禁煙としている。全ての公共施設における屋外喫煙場所を再度検討する。

答 市長 例えば総合社会教育センターは、すぐ出入口のところで喫煙ができる状況になっているので考えないといけない。

総合福祉センターでも、建物の出入口の近くにベンチまで置いているが、ベンチは必要なものだがたばこを吸うためのベンチになっているので、検討していかなければならない。

弥富駅前の路上喫煙に対する本市の考え

答 市長 たばこが健康に悪影響ということは吸う人も十分知りながら吸っている。

一度私も近鉄弥富駅、JR、名鉄などにおいて、喫煙場所を近所で指定できないか一度要望していきたい。

そうした形で、たばこを吸わない方を守っていかなくてはならないのも今の時代だろうと考える。

他の海部地区よりも先駆けて快適なまちづくりを進めていく上で、駅前の路上喫煙に関して考えていく必要があるのでないか。

モラル向上の啓発に努める鉄道会社に喫煙場所を要望

答 民生部長 モラルを遵守していただきたい。

たばこ健康に関する正しい知識の普及、妊婦への禁煙指導と家族への受動喫煙の指導、吸い殻などのポイ捨て禁止などのモラル向上など、受動喫煙防止の普及啓発に努めていきたい。

早川 公二 議員 無会派

子どもたちが安心して遊べる公園管理を

問

(1) 旧弥富町の公園と十四山地区の公園では管理方法が異なるのはなぜか。

旧弥富町地区の公園は、外から見ても、園内から見ても、公園内全てを見通せるのに対し、十四山東公園、十四山西公園は、外からも内からも園内全てを見通せない状態である。

旧弥富町の公園は、毎年ほぼ全ての樹木を剪定しているのに対し、東公園、西公園を毎年交互に樹木の枝打ちをしているが全ての樹木の枝打ちはしていない。

今後の管理計画は、
(2) 伐採計画は一度に全て、見通しがいいよう伐採する計画と理解していいか。
(3) 公園管理を分けず、一本化する事で市内全体の公園が同じ状況になると考

えるが市の見解は。

(4) 高齢者が体に負荷をかけず健康的に運動できる遊具が近年、全国の公園で増加している。
少子・高齢化に伴い、公園利用世代が子どもたちだけでなく、高齢者が多くなった日本を象徴するかのような高齢者向け遊具は、全国で増加していくと考えるが、本市の健康遊具を設置してある公園は何箇所か。

(5) 高齢者向け遊具は有効活用ができるメリットがあるが、今後、増設していく計画はあるか。
(6) 三ツ又池公園に健康遊具を設置してはどうか。

地域と相談し視界を遮る樹木の伐採を考えていく

総務部長

(1) 木の本数自体、また高

木の数自体も非常に多いのが現状だが、今後計画的に大人の背丈程度の高さにし、見通しができるように枝打ちをしていきたい。

答 市長

(1) 十四山地区の居住者に聞いたところ、定かかどうかわからないが、当時の村長や国会議員から公園内の樹木は切るなという経緯が過去にあり、現在に至っていると思っている。
しかし、利用者の安心・安全な場所であればならず安全が阻害されてはいけないので地域と相談し伐採をする方向で考えていきたい。

答 民生部長

(2) 一度は難しいので、計画的に枝打ちなども含め考えていきたい。
(3) 新庁舎の完成段階で組織再編により専門部署を検討することを考える。

(4) 健康遊具設置の公園は、3箇所である。

(5) 高齢者用遊具と子ども用遊具が混在することで子

どもが使うことにより安全性を危惧する。

答 市長

(5) 遊具の設置は、可能な箇所から増設していきたい。
(6) 三ツ又池公園は、春の芝桜まつりだけでなく、ジョギング愛好家、散歩者もあり、健康遊具は共通性があると思っているので、場所や遊具の種類など検討する時間をいただきたい。

昨年、委員会で質問したカーブミラーの霜対策は

問

(1) 昨年の委員会でも質問したが、カーブミラーの霜対策の結果と今後の対策・計画は。

(2) 老朽化や損傷したカーブミラーを市職員が全て把握するのは、現実無理ではないか。
どのように老朽化や霜対策をしていくのか。

検証の結果、新タイプのミラーに効果があつた

答 開発部長

(1) 今年度に入り、ミラーを新タイプに取り替える場合と既存のミラーに塗布し霜の発生を防ぐタイプで検証している。
新タイプを設置した場合は、一定の効果があつた。
一方、スプレー塗布は効果があつた。
ミラーを新タイプに取り替えた場合、コストアップになるが、カーブミラーの新設、老朽化などの建て替えに合わせ順次取り換えていきたい。

(2) 市職員だけでは、確認することは難しく、市民の協力がないとできないと思っている。
自分たちの生活、住む町の中をよくすることも、市民、地域の方の助け合うまちづくりの一環ではないかと捉え、コミュニティ活動などで交通安全に関する取り組みとしてカーブミラーの清掃作業のご協力をお願いしたい。

弥富市議会仮移転のお知らせ

市役所の本庁舎が耐震不足であることから、5月より安全を確保するために本庁舎棟で行っていた市議会の全ての業務を十四山支所3階へ仮移転しました。

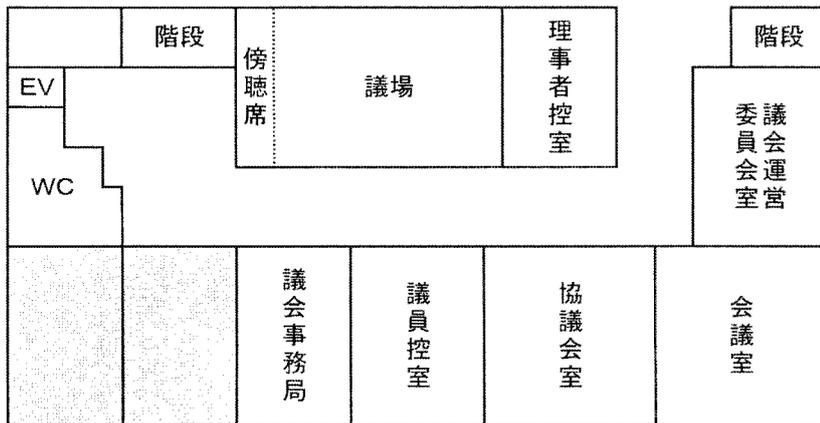
6月定例会からは全ての会議が十四山支所3階にて行われます。

▼郵便について 「〒498-8501 弥富市前ヶ須町南本田335番地」で届きます。

▼電話番号・FAX番号について

議会事務局あての電話は、代表電話番号☎0567-65-1111に変更はありません。

ただし、FAX番号は、0567-52-3276となります。



傍聴が可能な会議

【議場】

- ・本会議

【協議会室】

- ・常任委員会（総務建設経済委員会・厚生文教委員会）
- ・全員協議会
- ・特別委員会

6月定例会の開催日程(予定)	期日	日	程	ケーブルテレビ中継 放映予定	インター ネット 配信予定	備 考
	6月3日(金)		本会議(議案説明など)		○	～ケーブルテレビ中継～ 午前10時～会議終了まで (録画放映は当日午後7時～ 放映予定)
	10日(金)		本会議(一般質問)	○	○	
	13日(月)		本会議(一般質問)	○	○	
	14日(火)		本会議(議案質疑)		○	～インターネット配信～ 開催後、おおよそ10日後 より配信予定
	15日(水)		総務建設経済委員会		○	
	16日(木)		厚生文教委員会		○	
	21日(火)		本会議(委員長報告・討論・採決)		○	

※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。

表紙の説明

市制10周年記念事業として、芝桜まつりが4月16日、三ツ又池公園で開催されました。

会場では、見ごろを迎えた約10万株の芝桜をはじめ、ミスの撮影会、空撮ドローンによる上空からの映像体験、飲食販売コーナー、芝桜の苗木の無料配布などが行われ、たくさんの家族連れで賑わいました。





新議会構成、始まる。

議長に武田正樹氏、副議長に平野広行氏決まる

委員	副委員長	委員長	厚生文教委員会	〃	〃	〃	〃	〃	委員	副委員長	委員長	総務建設経済委員会	〃	〃	〃	委員	副委員長	委員長	議会運営委員会	議会選出監査委員	副議長	議長					
武田正樹	三浦義光	鈴木みどり	朝日将貴	高橋八重典	平野広行	佐藤高功	大原功	三宮十五郎	早川公二	炭竈ふく代	朝日将貴	江崎貴大	永井利明	佐藤高功	堀岡敏喜	三宮十五郎	堀岡敏喜	佐藤高功	平野広行	武田正樹							
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	委員	副委員長	委員長	弥富市庁舎改築等特別委員会	〃	〃	〃	〃	〃	〃	委員	副委員長	委員長	議会広報編集特別委員会	〃	〃	〃	〃	委員	
朝日将貴	高橋八重典	鈴木みどり	平野広行	三浦義光	堀岡敏喜	佐藤高功	三宮十五郎	早川公二	炭竈ふく代	朝日将貴	江崎貴大	鈴木みどり	平野広行	武田正樹	炭竈ふく代	三宮十五郎	堀岡敏喜	堀岡敏喜	三宮十五郎	堀岡敏喜	江崎貴大	加藤克之	永井利明	那須英二	堀岡敏喜		
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
江崎貴大	那須英二	堀岡敏喜	高橋八重典	永井利明	三浦義光	炭竈ふく代	早川公二	平野広行	早川公二	平野広行	海部地区環境事務組合	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
											海部地区水防事務組合	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
											海部南部消防組合	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
											海部南部水道企業団	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

